

平成 29 年度 教育旅行実施報告

藤坂彰子・岡田恵子・岡田なつ紀・寺崎慶子

呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）では、修学旅行や社会見学のために来館する未就学児から高校生を対象とした教育プログラム（教育旅行）を実施している。

本報告では、平成 29 年度において実施した教育旅行の活動概要を報告する。

1 平成 29 年度活動内容

（1）見学メニュー

平成 29 年度は平成 28 年度と同様、ガイダンス¹、大和講座²、アニメーション視聴³、証言者映像視聴⁴、ボランティアスタッフによる案内⁵、サイエンスショー⁶の計 6 つの見学メニューを実施した。これについては、『呉市海事歴史科学館研究紀要』12 号を参照されたい。



写真 1 ガイダンス実施風景



写真 2 案内実施風景

（2）補助教材

補助教材についても、平成 28 年度と同様、ニンテンドーDS ガイド⁷と、ワークシート⁸の運用を行った。

なお、歴史編ワークシートは長らく改訂を行わなかったため、掲載内容や館内案内図が現在の展示内容等と合わないものとなっていた。平成 28 年度より掲載内容の精査、改良を行い、平成 29 年 9 月より改訂したワークシートの運用を開始した。



写真 3 ワークシート

（左が歴史編，右が科学編）

(3) その他

a. パンフレット改訂

平成 29 年度は、新たな教育旅行案内用パンフレットを作成した。前回のパンフレットは平成 24 年度に作成したもので、度重なる展示更新と、平成 28 年度から運用を開始した改訂後の見学メニューに対応していないものとなっていた。

パンフレット改訂にあたっては見学メニューと申込方法について、分かりやすい内容であること、館内案内については見学者がパンフレット上で見学のシミュレーションをしやすいよう展示室の地図と展示資料の写真を多用するなどの工夫を凝らした。

平成 30 年 4 月より、修学旅行を検討している小・中学校及び高校の担当教員や、修学旅行団体の取扱いを行っている旅行会社へ向けてパンフレットの配付を開始した。また、当館ホームページでもパンフレットのダウンロードページを設けており、一般の方も当館の教育旅行見学メニューを知ることが出来る。

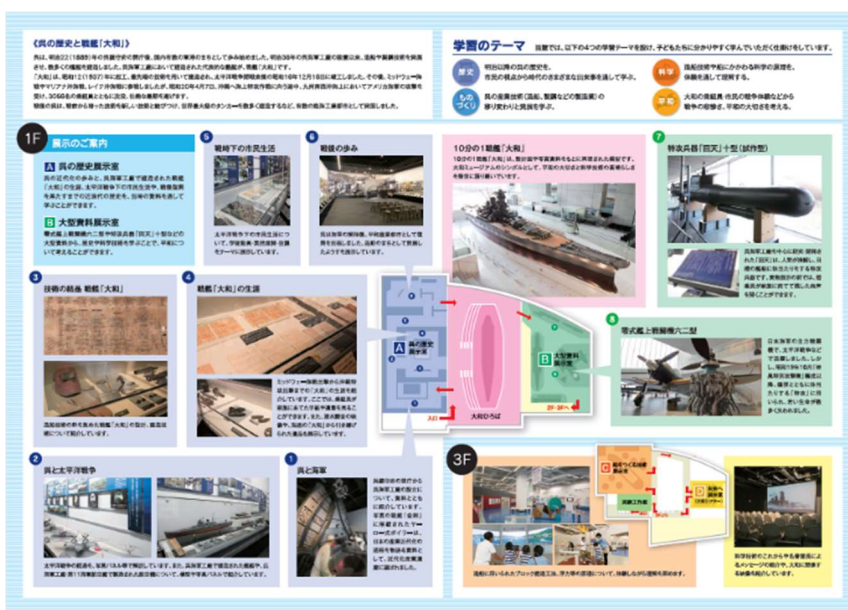


写真 4 教育旅行案内用パンフレット

b. 教育旅行用アンケート作成

当館では、来館者が任意で記入する来館者アンケートを実施しているが、教育旅行で来館した学校向けにはアンケートを実施していなかった。来館者アンケートの内容では、教育旅行向けメニューを改善するために必要な質問項目が少なく、教育旅行単独でアンケートを実施することを決定した。平成 29 年夏より内容を検討し、平成 30 年 2 月からテスト施行。平成 30 年 4 月より本格的に導入した。アンケートの内容や結果については、来年度以降報告したい。

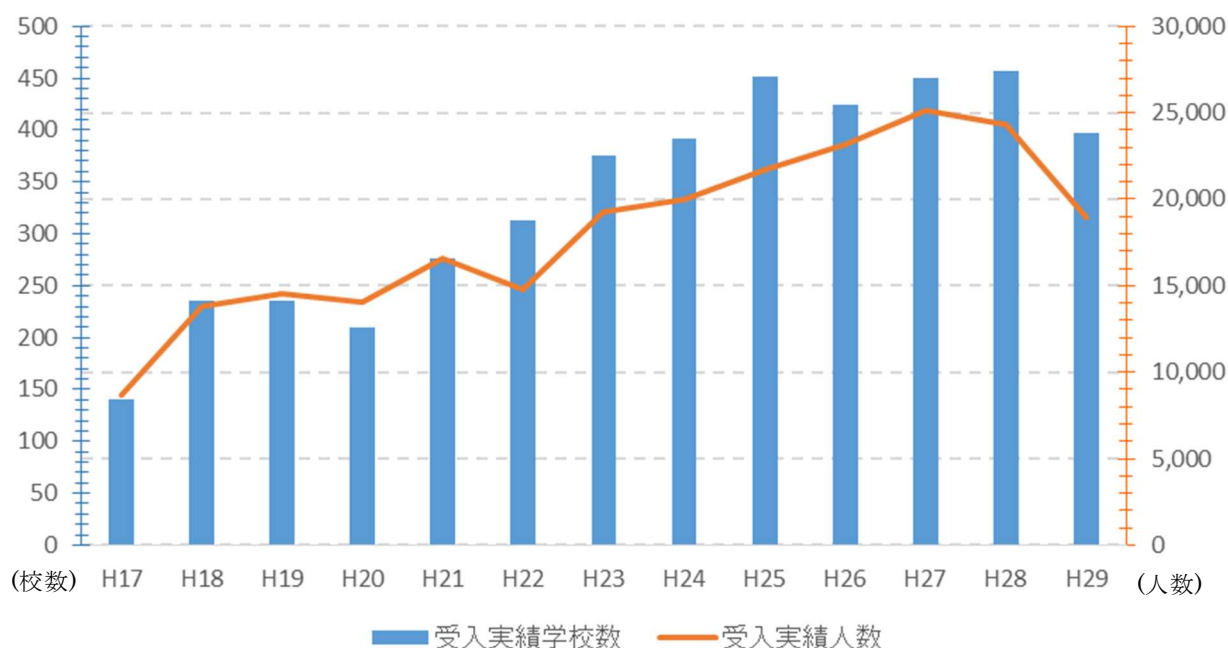
2 データに見る平成 29 年度教育旅行の実績と傾向

(1) 教育旅行受入実績の推移

平成 29 年度に実施した教育旅行の実績を見ていく。図 1 教育旅行受入実績は、開館以来の教育旅行の対応学校数、人数を示している。平成 29 年度に対応した学校数は 397 校で、実施人数は 18,969 人だった⁹。前年度実績は 457 校 24,295 人であり、60 校 5,326 人減少している。

前年度対比を見ると、校数は 87%で約 1 割減、人数は 78%で約 2 割減という結果になった。ただし、同年度の総来館者数は 929,743 人であり、前年の総来館者数 955,617 人と比較すると 25,874 人減少していることから、総来館者数の減少が、教育旅行受入実績にも影響していると考えられる。

図 1 教育旅行受入実績



教育旅行の対応人数を年代別に示したものが図 2 教育旅行対応者数 年代別割合である。平成 29 年度の実施人数 18,969 人のうち、中学生が最も多く 29%を占めており、割合としては前年度と同様の結果になった。

ただし実際の人数を見ていくと、平成 28 年度においては、小学生 6,799 人、中学生 7,318 人、高校生 5,152 人、その他 5,026 人という結果が、平成 29 年度については、図 2 のとおり、

小中学生の人数がそれぞれ 2,000 人弱と、著しく減少している。小中学生の対応人数減少が、今年度の対応人数減少に大きく関わっていると考えられる。

図 2 教育旅行対応者数 年代別割合

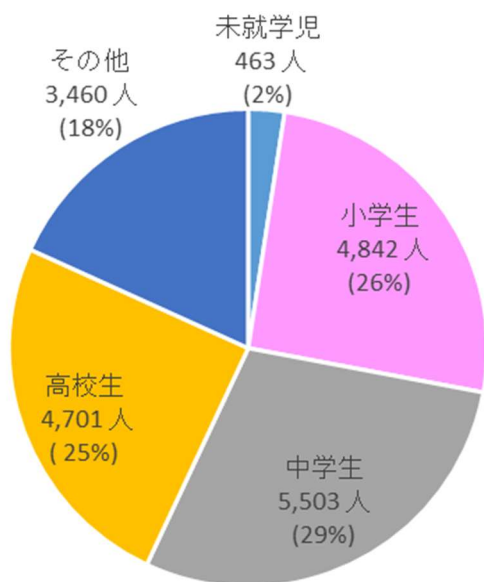
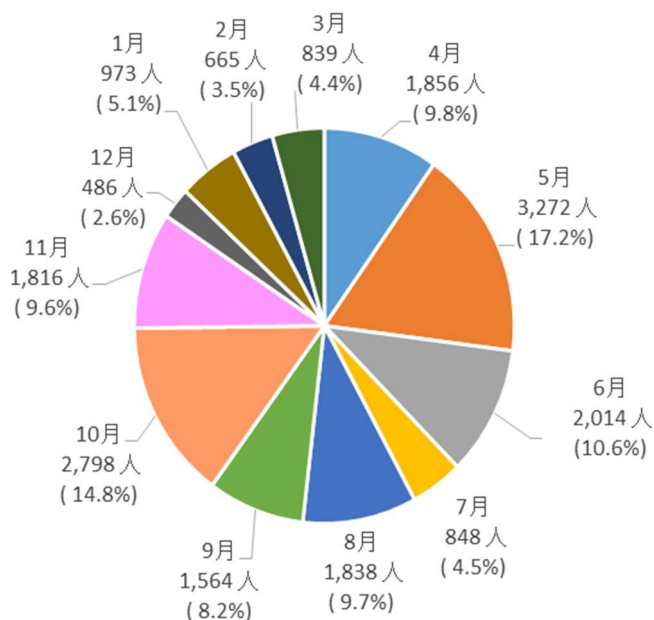


図 3 教育旅行対応者数 月別割合



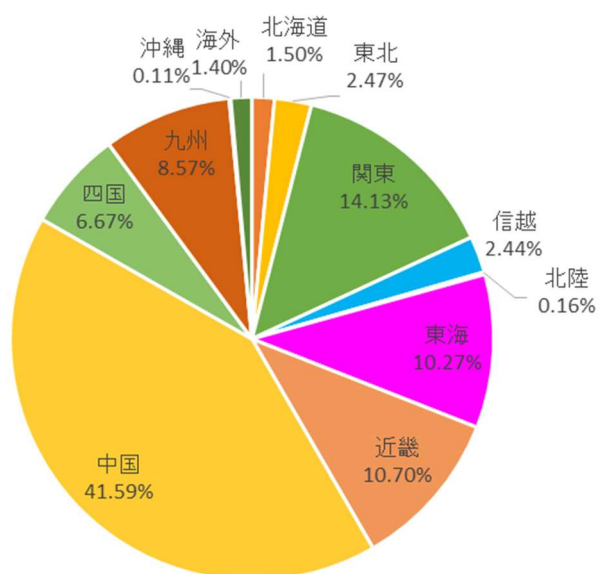
また、図 3 教育旅行対応者数 月別割合を見ると、前年度は 10 月に最も多く受入れをしたが、平成 29 年度は 5 月に最も多い 47 校、3,272 人の教育旅行を受入れ、対応した。

(2) 教育旅行対応者数 地方別割合

上記の教育旅行対応者数の内訳について、図 4 教育旅行対応者数 地方別割合を見ると中国地方が最も多く 41%だった。前年度は 39%の割合だったため、2%程増えている。この内訳を見ると、当館の所在する広島県からの来館者が大半を占めており、その内 64%が呉市内の学校¹⁰である。この内訳についても、前年度の 51%から 13%程増加している。これについては、呉市内からの来館が増えているのではなく、呉市以外からの来館が減っていることが原因だと考えられる¹¹。

次に関東からの来館者が 14%と多く、東海・近畿地方 10%、九州地方の 8%と続く。平成 28 年度と比べると、関東、九州及び信越からの来館者が 1%増加、東海、近畿及び東北からの来館者が 2~3%程割合として減少している。

図 4 教育旅行対応者数 地方別割合



(3) 見学メニュー別の人気

見学メニュー別の人気を示したのが、表3 見学メニュー別実績である。これを見ると、学校数 397 校の内、半数近くは自由見学であることがわかる。これは前年の平成 28 年度と同様の結果である。次いでガイダンスが一番多く、さらにガイダンスとアニメ、ガイダンスと案内の組合せ、案内の需要が高いことがわかる。

また、平成 28 年度との相違点としては、証言者映像視聴とサイエンスショーの受講増加と、複数メニューの組合せを行う学校が徐々に増えてきたことである。

表3 見学メニュー別実績

見学メニュー	平成 28 年度		平成 29 年度	
	校数	人数	校数	人数
ガイダンス	45	3,906	39	2,724
ガイダンス・アニメ	33	1,738	34	1,910
ガイダンス・アニメ・証言			1	7
ガイダンス・アニメ・証言・案内			2	29
ガイダンス・アニメ・証言・案内・サイエンスショー			1	29
ガイダンス・アニメ・案内	4	159	4	113
ガイダンス・アニメ・案内・サイエンスショー			1	64
ガイダンス・証言	1	52		
ガイダンス・証言・案内	1	11	1	56
ガイダンス・証言・ニンテンドーDS ガイド			1	52
ガイダンス・案内	33	1,869	34	1,991
ガイダンス・サイエンスショー	1	72		
ガイダンス・ニンテンドーDS ガイド	11	592	7	377
講座	12	965	8	691
講座・アニメ	1	20	3	414
講座・アニメ・証言			3	402
講座・アニメ・案内	2	62	2	52
講座・証言・案内	2	17		
講座・案内	6	347	3	76
講座・サイエンスショー			1	57
講座・ニンテンドーDS ガイド			1	14
アニメ	10	584	9	318
アニメ・案内	5	270	4	257
アニメ・案内・サイエンスショー	1	19		
アニメ・サイエンスショー			2	97
アニメ・ニンテンドーDS ガイド			2	15
案内	51	2,922	34	1,935
案内・サイエンスショー	6	176	5	118
サイエンスショー	4	52	5	98
ニンテンドーDS ガイド	3	120		
自由見学	225	10,342	190	7,073
合計	457	24,295	397	18,969
前年度比			87%	78%

3 まとめ

上記のとおり、平成 29 年度の教育旅行の受入実績は、前年度と比べると減少傾向にある。特に、小中学生の来館者数が著しく減少していることが、教育旅行対応者数年代別割合から伺うことができた。原因として、総来館者数の減少に比例して、教育旅行の受入人数も減少したことが考えられよう。

また、平成 28 年度との相違点をもう一つ挙げるならば、複数メニューの選択を行う学校が増加したこと、また、メニューの組合せのバリエーションが増加したことがあげられる。

この理由として考えられるのが、平成 28 年度から行った教育旅行用予約表の改訂である。平成 27 年度まで使用していた教育旅行用予約表では、見学メニューの欄が分かりづらく、見学メニューもきちんと整備がされていなかった。この点を教訓に、平成 27 年度より見学メニューの整備と予約表の改訂を行い、平成 28 年度から改訂した見学メニューと予約表の運用を開始した。この際に新しく出来た見学メニューが証言者映像視聴であり、こうした改善と新メニューの定着が現れ始めたのが、平成 29 年度だったと考えられる。

今後は教育旅行の受け入れ態勢の強化と改善作業を行い、多くの学校が利用しやすく、魅力的な見学メニューを考えていきたい。

【註】

- 1 呉と戦艦「大和」の歴史について写真やイラストを用いて概説し、展示室の見どころを紹介。
- 2 呉の歴史を学ぶとともに、平和について考える講座。
- 3 当館オリジナルのアニメーション「大和－夢の彼方へー」（沖縄に向けた水上特攻作戦に出撃する戦艦「大和」に乗り組み、18 歳で戦死する青年の物語）の視聴を通して、戦争の悲惨さと平和の大切さについて学ぶ。
- 4 戦艦「大和」の沖縄特攻作戦からの生還者や、戦争体験者の体験談を視聴。
- 5 ボランティアスタッフは、平成 29 年度現在で 96 名在籍し、呉の歴史や戦艦「大和」について解説を行う歴史班と、造船技術や船のしくみについて解説を行う科学班にわかれている。館内の案内は、主に歴史班のボランティアスタッフが行っている。戦争体験者や、元造船関係者なども在席しており、展示解説だけでなく、自身の経験を活かした解説も行っている。
- 6 毎週日曜日に一般来館者を対象に実施している科学の専属スタッフによるショー。このショーを、教育旅行向けに開催。
- 7 14 か所のガイドポイントで、画像とともに音声ガイドを聞くことができる。内 5 か所では、「大和」の乗組員の遺書の朗読を聞くことができる。
- 8 学校での事前の学習や自主見学、まとめ学習に使えるワークシート。歴史編と科学編がある。事前送付も行っているが、当館ホームページからもダウンロードが可能
- 9 この学校数・実施人数には、大学や企業、地域の生涯学習団体等も含んでおり、全体の 18%を占めている。
- 10 呉市内の学校のうち、割合が多いのは小学校である。これは、呉市教育委員会において、呉市内の小学校を対象に、呉の歴史について学ぶ「ふるさと文化探訪事業」を実施しており、大和ミュージアムには、小学 5 年生が訪れるよう計画されているからである。
- 11 平成 28 年度呉市外からの来館 75 校 3,399 人に対し、平成 29 年度は 55 校 2,077 人であった。

藤坂彰子（当館学芸員）、岡田恵子・岡田なつ紀・寺崎慶子（当館嘱託職員）